

TTC標準
Standard

JT-H264.2

JT-H264 高度ビデオ符号化方式
の参照ソフトウェア

REFERENCE SOFTWARE FOR
JT-H264 ADVANCED VIDEO CODING

第6版

2017年5月25日制定

一般社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、
改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容.....	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）SG16 会合において勧告化された下記 ITU-T 勧告に準拠している。

[1] H.264.2 (02/2016)

Reference software for ITU-T H.264 advanced video coding

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

なし。

3. 改定の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1 版	2006 年 8 月 24 日	制定
第 2 版	2009 年 5 月 27 日	ITU-T H.264.2(06/08)準拠に改定
第 3 版	2011 年 2 月 23 日	ITU-T H.264.2(06/10)準拠に改定
第 3.1 版	2011 年 3 月 3 日	改定欄の修正
第 4 版	2013 年 2 月 21 日	ITU-T H.264.2(01/12)準拠に改定
第 5 版	—	欠番
第 6 版	2017 年 5 月 25 日	ITU-T H.264.2(01/2015)、ITU-T H.264.2(01/2016)準拠に改定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで御覧になれます。

5. その他

(1) 参照する主な ITU-T 勧告

[1] H.264 (2016)

(2) 本出版は、具体的な規定内容は含んでいない。規定はすべて準拠元である ITU-T 勧告によっている。

具体的な規定内容は ITU-T 勧告を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

メディア符号化専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、国際電気通信連合電気通信標準化部門 (ITU-T) SG16 会合において勧告化された ITU-T H.264.2 勧告に準拠している。

ITU-T H.264.2 は、電子的に添付された付随参照ソフトウェアを供給する。参照ソフトウェアは TTC 標準 JT-H264.2 の必須部分である。

本標準の目的は以下のものを供給することである。

- JT-H264 に適合するビットストリームを JT-H264 で規定された復号処理に適合する方法で復号できる参照復号器ソフトウェア
- JT-H264 に適合するビットストリームを生成できる参照符号器ソフトウェア

TTC 標準 JT-H264 に適合する符号器・復号器の実装において、この参照ソフトウェアを使うことは要求されない。JT-H264 の要件は、参照ソフトウェアの振る舞いよりも優先される。

本標準に対応する ITU-T 勧告において、ITU-T で 2009 年 5 月に承認された版は参照ソフトウェアへの変更をまとめたものであり、それらは、符号器の圧縮能力の向上、バグ修正、速度およびメモリ資源利用の改良、可読性および保守性のためのソフトウェア再構築、および JT-H264 の新しいプロファイルの追加を含む。新しいプロファイルとは、2007 年に ITU-T H. 264 に追加された専門的アプリケーションのためのプロファイルである。ITU-T H. 264.2 本文への変更は行われなかった。

本標準に対応する ITU-T 勧告において、ITU-T で 2010 年 6 月に承認された版は符号器の圧縮能力の向上、バグ修正、速度およびメモリ資源利用の改良、可読性および保守性のためのソフトウェア再構築を含む。さらに、この第 3 版はスケーラブル基本、スケーラブルハイ、スケーラブルハイ INTRA、マルチビューハイ、およびステレオハイプロファイルを含む。ITU-T H. 264 の付属資料 G に規定されるスケーラブルプロファイル群(スケーラブル基本、スケーラブルハイ、およびスケーラブルハイ INTRA)への対応、および ITU-T H. 264 の付属資料 H に規定されるマルチビュープロファイル群(マルチビューハイおよびステレオハイ)への対応は、別々のソフトウェアソリューションで与えられる。

本標準第 4 版に対応する 2012 年 1 月に承認された ITU-T H. 264.2 の第 4 版では、今回本文への変更は行われておらず、参照ソフトウェアへの変更が行われたことを紹介するのみである。参照ソフトウェアへの変更は、符号器の圧縮能力を向上させ、バグ修正を行い、速度およびメモリ資源利用の改良を行なった。また、可読性および保守性のためのソフトウェア再構築を含んでいる。

本標準第 6 版は、ITU-T H. 264.2 の第 5 版および第 6 版における改定内容を含む。

2015 年 2 月に承認された ITU-T H. 264.2 の第 5 版は ITU-T H. 264 の付属資料 A に規定されるプロファイルのバグ修正を含む。さらに、ITU-T H. 264 の付属資料 H に規定される MFC ハイプロファイル、ITU-T H. 264 の付属資料 I に規定されるマルチビューデプスハイプロファイル、および ITU-T H. 264 の付属資料 J に規定される拡張マルチビューデプスハイプロファイルへの対応を含み、それらは別々のソフトウェアパッケージで与えられる。

2016 年 2 月に承認された ITU-T H. 264.2 の第 6 版は ITU-T H. 264 V10 に含まれる MFC+デプス拡張に対応した MFC デプスハイプロファイルを含む。また、前に承認された版に関連する種々の軽微な改善とバグ修正とを含む。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記 ITU-T 勧告による。

[1] H.264.2 (02/2016)

Reference software for ITU-T H.264 advanced video coding